



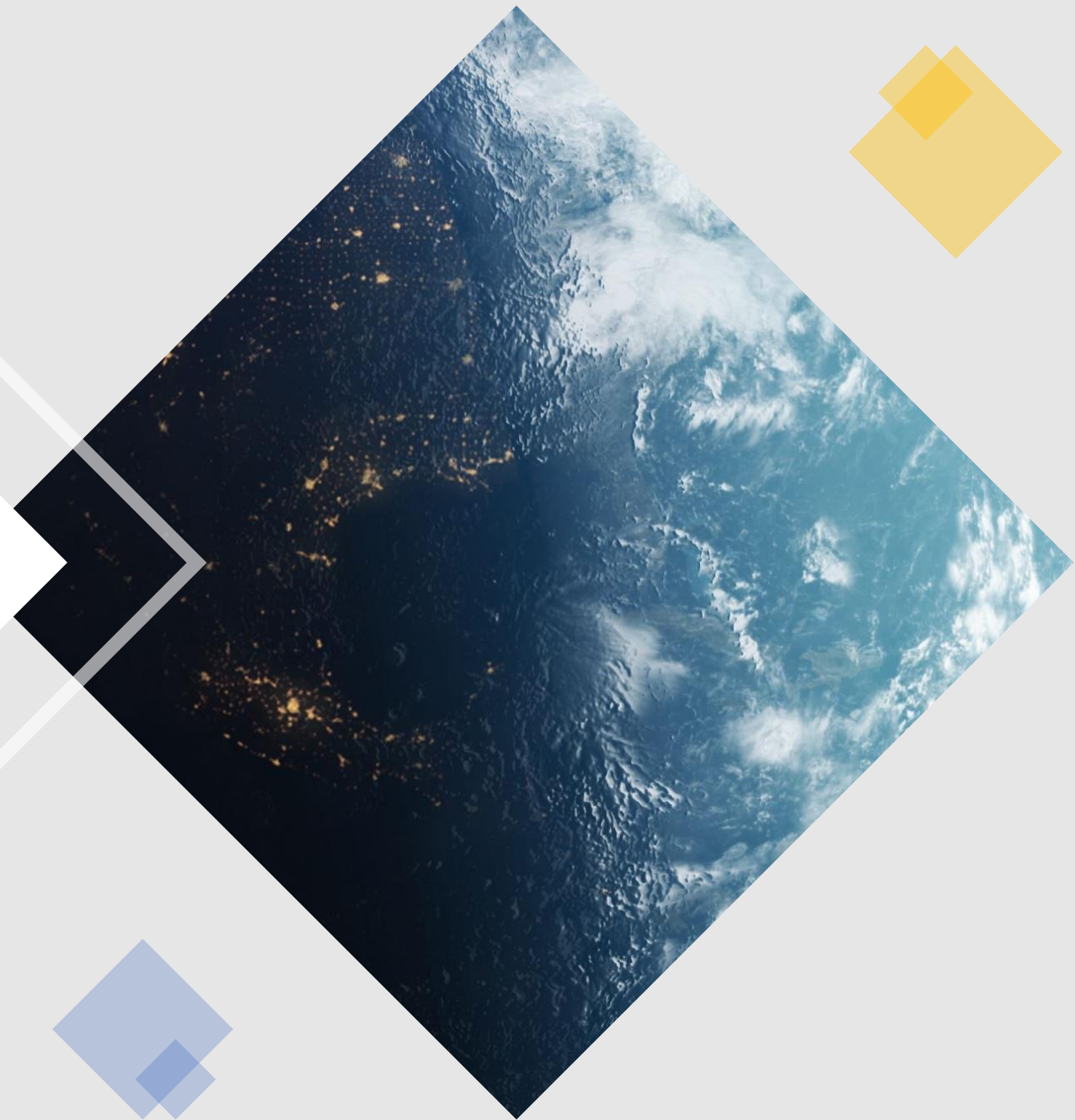
危機言語・方言の判定尺度

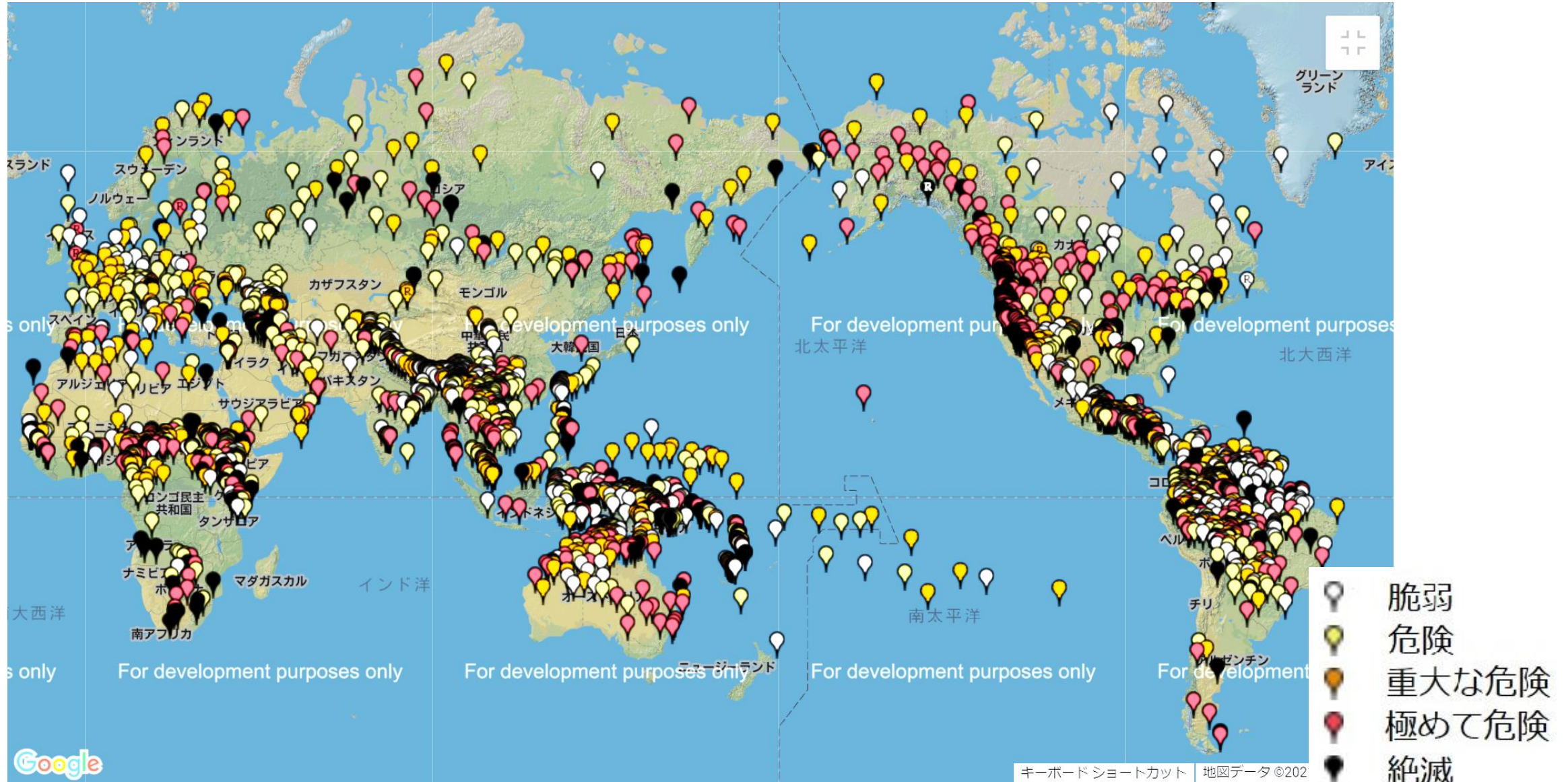
令和3年度 危機的な状況にある言語・方言サミット
気仙沼大会 2022年1月29日・30日

国立国語研究所 木部 暢子

背景

2009年2月、ユネスコは世界の言語約6,000のうち約2,500が消滅の危機に瀕していると発表しました。





日本の危機言語



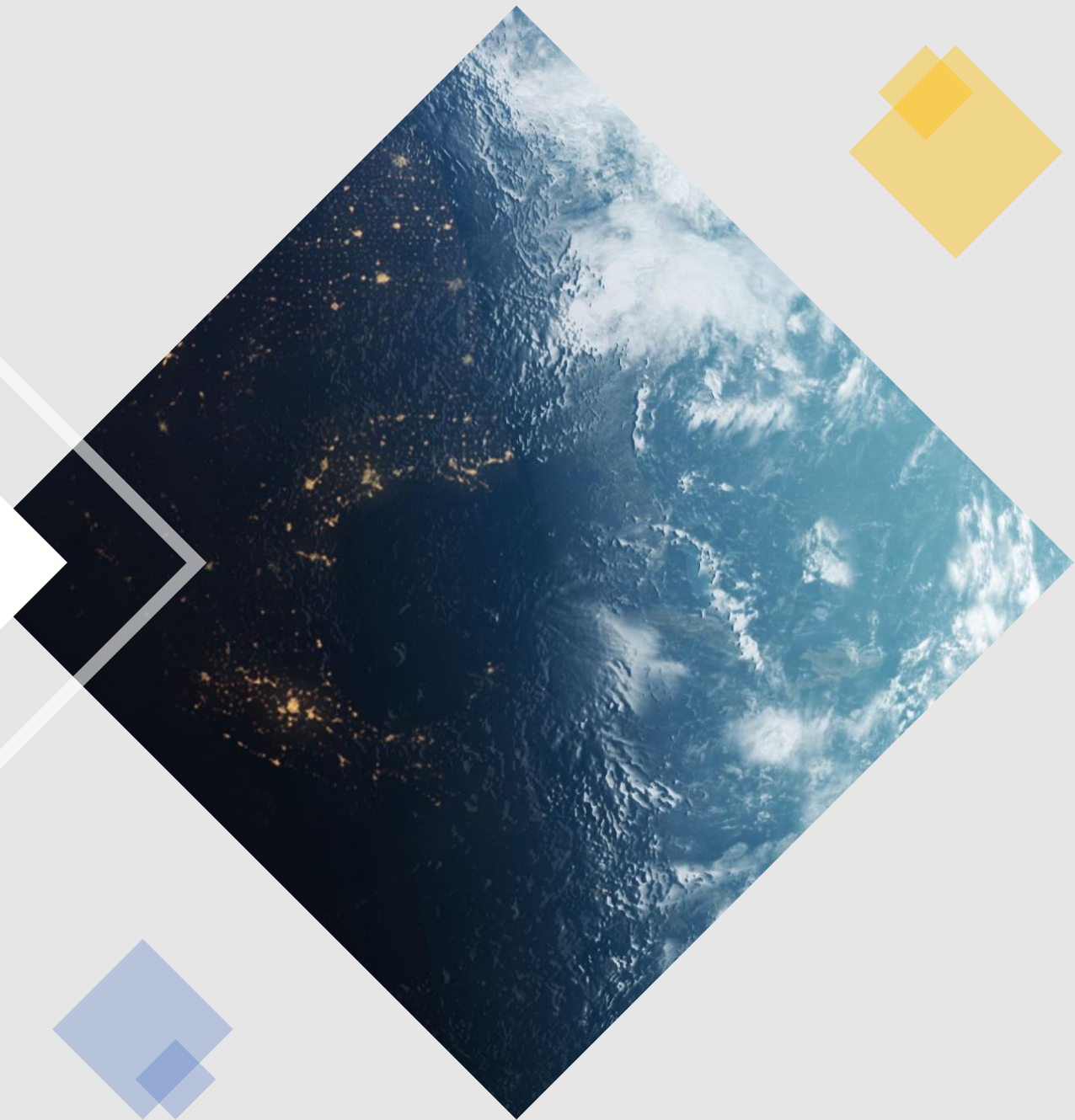
その中には日本で話されている8つの言語が含まれています。

- 極めて危険 アイヌ語
- 重大な危険 与那国語、八重山語
- 危険 八丈語、奄美語
 国頭語、沖縄語
 宮古語

しかし、消滅の危機にあるのはそれだけではありません。多くの方言も危機的な状況にあります。

危機の度合い の判定基準

危機の度合いの判定はどの
ようにして行われたので
しょうか。



9つの指標

Language Vitality and Endangerment (2003.3)

UNESCO Ad Hoc Expert Group on Endangered Languages

「言語の体力測定」（訳は『危機的な状況にある言語・方言の実態に関する調査研究事業報告書』による）

-
- (1) どのくらい次の世代に伝えられているか。
 - (2) 方言を母語とする人がどのくらいいるか。
 - (3) 方言を使う人たちは、地域全体のどのくらいか。
 - (4) どのような場面で使用されているか。
 - (5) テレビ放送などで使用されているか。
 - (6) 教育に利用される方言の資料がどのくらいあるか。
 - (7) 方言に対する国や市町村の政策はどうか。
 - (8) 地域の人たちは、方言をどう思っているか。
 - (9) 質のよい方言の資料がどのくらいあるか。
-

5	曾祖父母	祖父母	父母	子ども
4	曾祖父母	祖父母	父母	子ども
3	曾祖父母	祖父母	父母	
2	曾祖父母	祖父母		
1	曾祖父母			
0	使用する人はいない。			

(3) 方言を使う人たちは、地域全体のどのくらいか。

5	 全員
4	 ほぼ全員
3	 大半
2	 少数
1	ほとんどいない
0	誰も使用していない。

(4) どのような場面で使用されているか。

5	 すべての場面
4	 すべての場面で標準語と方言
3	 家庭
2	 限られた場面
1	ごく限られた場面
0	どんな場面でも使用されていない。

(5) 新たに加わった場面（テレビ放送など）で使われるか。

5	 どんな場面でも
4	 多くの場面
3	 ある一定の場面
2	 わずかの場面
1	ほとんどない。
0	使用されていない。

(6) 教育に利用される方言の資料がどのくらいあるか。

5	 正書法、文法書、辞書、文学作品がある。
4	 文字資料がある。学校で学んでいる。
3	 文字資料がある。学校でそれに触れる。
2	 文字資料はある。学校教育には取り入れられていない。
1	文字資料がいくつかある程度
0	書記法は存在しない。

(7) 方言に対する国や市町村の政策はどうか。

5	 保護されている。
4	 保護されている。 公的には使用されない。
3	 保護されていない。 公的場面では標準語が使用される。
2	 保護されていない。 公的場面では標準語の使用が勧められる。
1	保護されていない。 標準語のみが公的に使用される。
0	使用が禁止されている。

(8) 地域の人たちは、次の世代にも使用されることを

5	 全員が望んでいる。
4	 ほとんどの人が望んでいる。
3	 多くの人が望んでいる。
2	 望んでいる人もいる。
1	望んでいる人は少数しかない。
0	すべての人が標準語の使用を望んでいる。

(9) 質のよい方言の資料がどのくらいあるか。

5	 方言の資料が日常的に作られている。
4	 定期的に更新される方言の資料がある。
3	 日常的に使用される資料はない。
2	 簡単な文法書、語彙集、文字資料があるが、総括的なものはない。
1	簡単な文法書、短い語彙集、断片的な文字資料がいくつか存在する。
0	言語記述は存在しない。

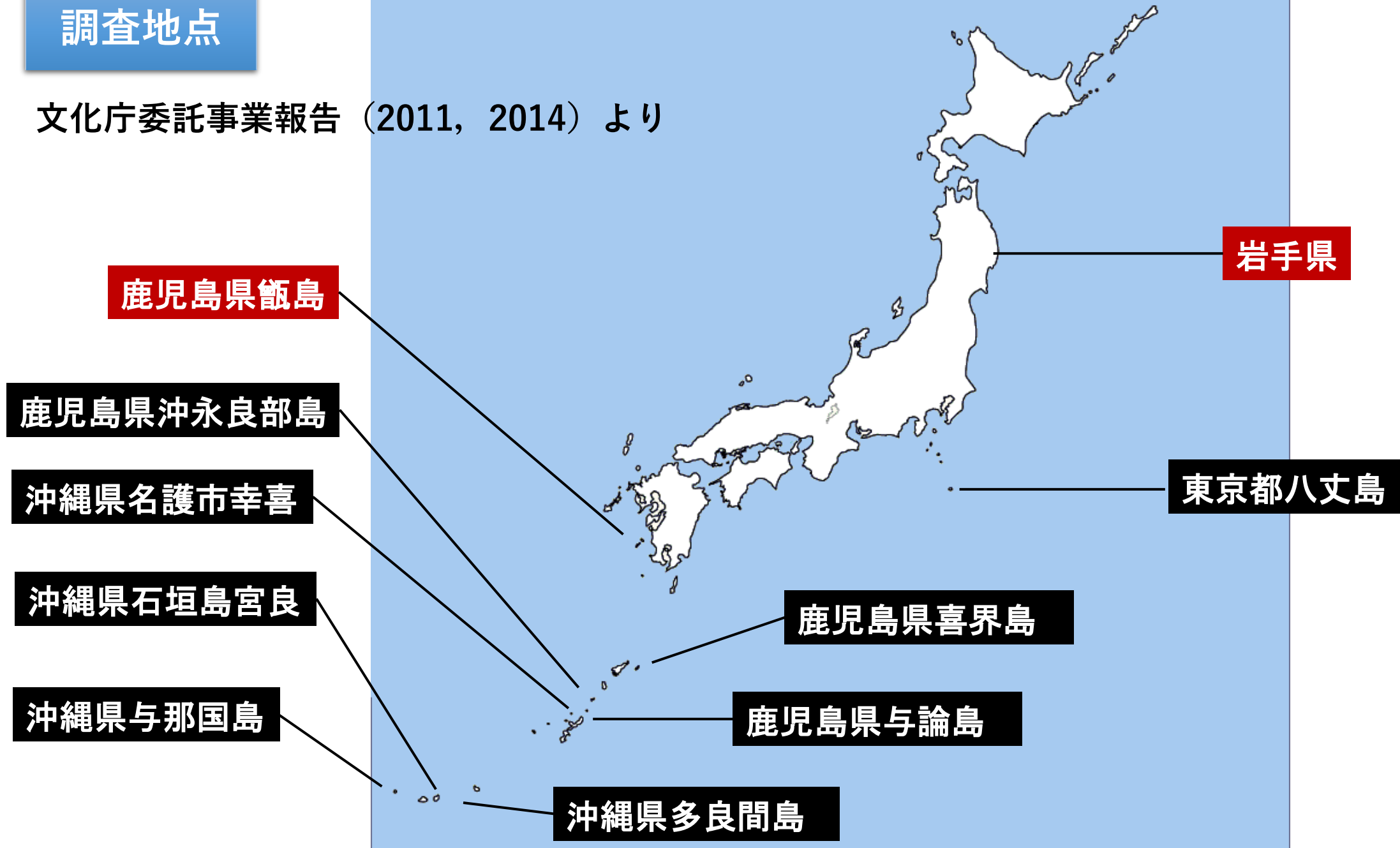
危機の度合い の測定

各地のことばの危機
の度合いを測って
みました。



調査地点

文化庁委託事業報告（2011，2014）より



危機の度合い 1～5

17

3：父母
2：祖父母

3：大半
2：少数

3：家庭
2：限られた場面

2：わずか
1：ほとんどない

地点	判定者	(1) 世代間伝承	(3) 話者の割合	(4) 使用場面	(5) 新たな場面
岩手	大野真男	2～3	3	2～3	1～2
八丈	金田章宏	2～3	2	2～3	2
甕島言	木部暢子	3	2	2～3	0
喜界	木部暢子	3	3	2～3	1
沖永良部	木部暢子	3	3	3	1
与論	木部暢子	3	3	3	2
名護市幸喜	狩俣繁久	2	2	2～3	0
多良間	下地賀代子	3	3	2～3	0
宮良(石垣)	C.デイビス	2	2	2～3	1
与那国	山田真寛	2	2	2～3	0

危機の度合い 6～9

18

2：学校で不使用
1：いくつかある程度

3：公的には標準語
2：標準語を推奨

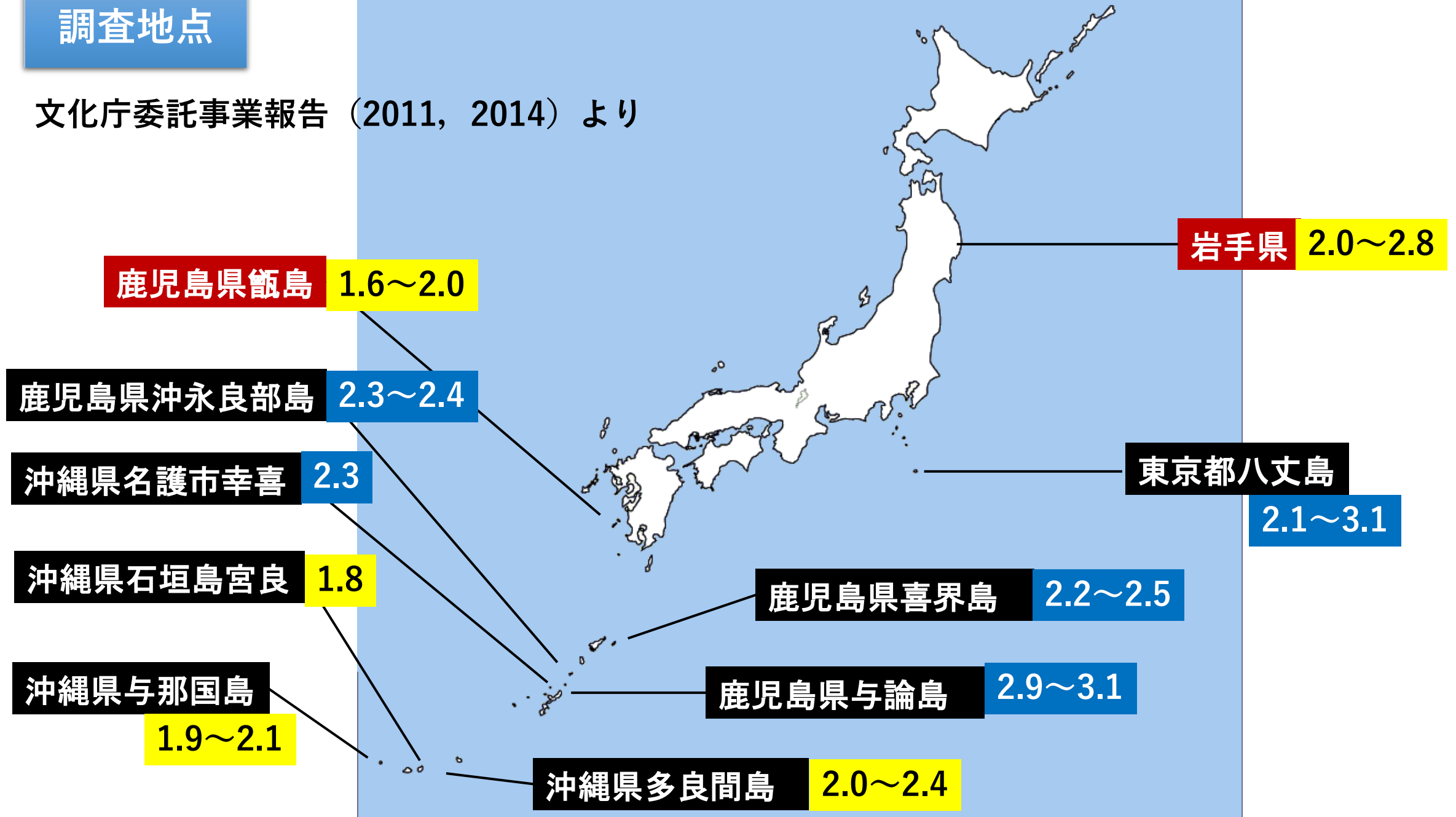
4：ほとんどの人
3：多くの人

3：日常的なものはない
2：総括的なものはない

地点	(6) 教育に使われる言語資料	(7) 政府の言語政策	(8) 話者コミュニティの態度	(9) 言語記述の質と量	総合
岩手	2～3	2～3	2～3	2	2.0～2.8
八丈	2～3	3～4	3～4	3～4	2.1～3.1
飴島方言	2	2	1～3	1	1.6～2.0
喜界	2	2～3	2～3	2	2.2～2.5
沖永良部	2	2	2～3	2	2.3～2.4
与論	3	3	3～4	3～4	2.9～3.1
名護市幸喜	1	1～3	4	3～4	2.3
多良間	1～2	3	2～3	2	2.0～2.4
宮良(石垣)	1	2	2	2	1.8
与那国	1	3	2～3	2	1.9～2.1

調査地点

文化庁委託事業報告（2011，2014）より



みなさんも、自分の方言の
危機の度合いを測ってみて
ください。



文 献

- *Language Vitality and Endangerment* UNESCO Ad Hoc Expert Group on Endangered Languages, 2003年3月
(http://www.unesco.org/new/fileadmin/MULTIMEDIA/HQ/CLT/pdf/Language_vitality_and_endangerment_EN.pdf#search=%27Language+Vitality+and+Endangerment%27)
- UNESCO Atlas of the World's Languages in Danger
(<http://www.unesco.org/languages-atlas/index.php>)
- 文化庁委託事業『危機的な状況にある言語・方言の実態に関する調査研究事業報告書』2011年.
(http://www.bunka.go.jp/seisaku/kokugo_nihongo/kokugo_shisaku/kikigengo/jittaichosa/pdf/kikigengo_kenkyu.pdf)
- 文化庁委託事業『危機的な状況にある言語・方言の実態に関する調査研究（八丈方言・国頭方言・沖縄方言・八重山方言）報告書』国立大学法人 琉球大学（国際沖縄研究所）, 2014年.
(http://www.bunka.go.jp/seisaku/kokugo_nihongo/kokugo_shisaku/kikigengo/jittaichosa/pdf/kikigengo_ryukyu_h26.pdf)